

謹賀新年

明けましておめでとうございます

—— 和水町町議会議員一同 ——



議会議員委員会名簿

各委員会名		氏名
1	議長	多賀 勝丸
2	副議長	庄山 忠文
3	常任委員会	総務文教常任委員会 (5名) (委員長) 古閑 修一 (副委員長) 荒木 拓馬 (委員) 多賀 勝丸・高巢 泰廣・中村 一博
		厚生常任委員会 (5名) (委員長) 杉村 幸敏 (副委員長) 小山 暁 (委員) 庄山 忠文・松村 慶次・蒲池 恭一
		建設経済常任委員会 (4名) (委員長) 豊後 力 (副委員長) 笹淵 賢吾 (委員) 杉本 和彰・荒木 政士
4	議会運営委員会 (6名)	(委員長) 小山 暁 (副委員長) 古閑 修一 (委員) 杉村 幸敏・豊後 力・笹淵 賢吾・荒木 拓馬
5	政治倫理調査会 (6名)	(委員長) 笹淵 賢吾 (副委員長) 荒木 拓馬 (委員) 杉村 幸敏・中村 一博・豊後 力・蒲池 恭一
6	広報調査特別委員会 (6名)	(委員長) 小山 暁 (副委員長) 豊後 力 (委員) 荒木 拓馬・松村 慶次・中村 一博・蒲池 恭一

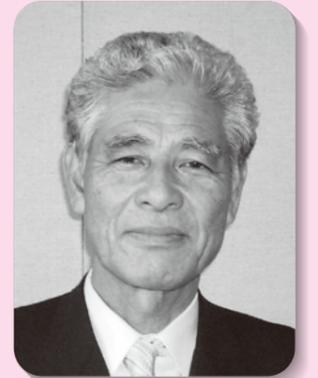
迎春

2014



年頭の挨拶

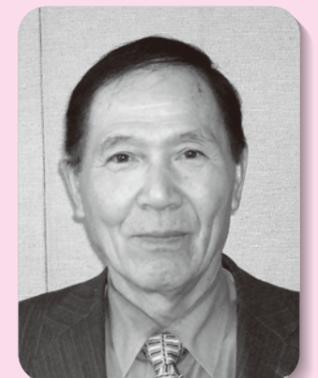
新年明けましておめでとうございます。皆様には家族おそろいで平成26年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より議会に対しまして、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、局地的な豪雨等異常気象により各地で大災害が発生した地域もありましたが、我が町におきましては大きい自然災害もなく平穏な年でありました。さて、月日の経つのは早く和水町になり8年が過ぎようとしております。このような中、本町の一大事業であります「小中併設型校舎建設事業」も三加和区域においては本年4月に小中一貫教育がスタートする記念すべき年であり、皆様とともに子どもたちの成長教育の充実に期待する所です。



和水町議会議長
多賀 勝丸

菊水区域におきまして住民投票の不成立等で遅れておりますが、次代を担う子どもたちの為に「三加和区域」同様小中一貫教育の環境を整える事が重要課題であり、町民の皆様への付託に添うべく、今後も引き続き執行機関と切磋琢磨しながら鋭意努力してまいります。残り任期3カ月全議員で安心な生活環境の整備と魅力ある町づくりの実現に向けて積極的に取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますとともに、今年が町民の皆様にとって最高の素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては輝かしい新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。議会に対しましてご理解とご協力を厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、温暖な春が来て夏には猛暑となり、秋には出穂の時期の長雨農家にとっては厳しい年でありました。行政においては光ファイバー通信網の整備、県道・町道の改良、中山間地整備事業、高校生までの医療費免除と順調に進んだのではないかと思います。いよいよ三加和小中学校の開校になります。ただ菊水地区の小中併設型校舎建設にあたってはいろいろな問題点があり、今後皆様方のご意見をふまえて未来の子どもたちの為に前進してまいります。



和水町議会副議長
庄山 忠文



かなければならないと考えています。ご指導・ご協力をよろしく願います。町議会もより一層町民の為に議会改革、機能強化を推進し町民の方々の付託に添うよう、努力していきます。結びになります。今年のご挨拶と申し上げ、新年のご挨拶といたします。

12月議会議案審議

採決結果 平成25年12月議会定例会議案一覧(町長提出一覧)

条 例： 7件
補正予算： 6件
そ の 他： 2件
計 15件

議案番号	議 案 名	審議採決の結果
議案第72号	和水町職員の再任用に関する条例の制定	全会一致原案可決
議案第73号	和水町職員の再任用に関する条例の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	〃
議案第74号	和水町税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例等の一部改正	〃
議案第75号	和水町税条例の一部改正	〃
議案第76号	和水町国民健康保険税条例の一部改正	〃
議案第77号	和水町子ども医療費助成に関する条例の一部改正	〃
議案第78号	和水町営住宅管理条例の一部改正	〃
議案第79号	平成25年度 和水町一般会計補正予算(第6号)	賛成多数原案可決
議案第80号	平成25年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	全会一致原案可決
議案第81号	平成25年度 和水町介護保険事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第82号	平成25年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第2号)	〃
議案第83号	平成25年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第84号	平成25年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)	〃
同意第9号	人権擁護委員候補者の推薦	全会一致原案同意
同意第10号	人権擁護委員候補者の推薦	〃

平成25年12月議会定例会議案一覧(議員提出一覧)

そ の 他： 3件
計 3件

議案番号	議 案 名	審議採決の結果
	閉会中の継続審査(総務文教常任委員会)	原案決定
	閉会中の継続審査(建設経済常任委員会)	〃
	閉会中の継続審査(議会運営委員会)	〃

陳情等の審査結果

平成25年12月定例会

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
61	平成23年5月31日	建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願	継続審査	建設経済常任委員会
343	平成25年1月8日	上和仁地区内の農道の一部を生活道路(町道)への格上げに関する要望書	〃	〃
209	平成25年9月2日	国宝江田船山古墳出土品展示館の設置等についての陳情	〃	総務文教常任委員会
225	平成25年9月10日	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択	〃
330	平成25年12月9日	番城校舎建設の是非を問う住民投票の要望書	〃	〃

一般会計補正予算

一般会計補正予算

229,874千円を追加

総額92億73,265千円に増額

平成25年

12月

定例議会
報告

平成25年12月定例議会は、12月11日から12月17日までの7日間の会期で開かれました。

今回の定例会は、25年度補正予算関連6件・条例関係7件・人事2件など15の議案が提出され、すべて原案どおり可決承認されました。また、人権擁護委員2名が推薦・承認されました。

陳情要望については、5件が審査され番城校舎建設の是非を問う住民投票の要望書については不採択、継続審査3件、不採択1件となりました。

一般質問は9名の議員が登壇し、主に菊水地区学校建設事業等の問題について、執行部の考えを正しました。

特別会計補正予算

会 計 名	減額・追加	予算総額
和水町国民健康保険事業	408千円追加	1,689,610千円
和水町介護保険事業	1,531千円追加	1,627,754千円
和水町特別養護老人ホーム事業	1,298千円追加	505,193千円
和水町特定地域生活排水処理事業	6,264千円追加	97,634千円
和水町後期高齢者医療事業	99千円追加	149,521千円

自律の村づくり『宮田村』！ 奇跡の村『川上村』！

和水町議会運営委員長 小山 暁

平成25年度和水町議会議員先進地視察研修を去る10月22日から24日にかけて、長野県上伊那郡宮田村と同じく長野県南佐久郡川上村の2村を視察してきました。

今回の視察目的は、住民参加の協働による自律の村づくりに取り組んでいる宮田村の現状と平均年収2,500万円『レタス生産量日本一』の奇跡の村と言われている川上村の農業振興の実態についてそれぞれ視察してきました。

宮田村は、人口9,262人面積54・5km²の自然豊かな村で、昭和29年の大合併により駒ヶ岳市となったが住民の自律志向の高まりによる混乱によって、昭和31年には、市から分かれて、再び村に戻るといふ苦い経験をした村と聞き議員一同大変驚きました。それから50年が経過し、再び平

成の合併がおり、平成15年3月、伊南4市町村任意合併協議会に参加し、約2年半にわたり市町村合併問題に取り組んできたが、平成15年11月に18歳以上の住民を対象に実施された住民意向調査の結果7割の住民が合併をしない選択をしたため、宮田村は合併協議会から離脱を表明し、その時点から『自律の道』を歩いてきたという宮田村特有の歴史があったことを知らされました。それ以来、宮田村は『小さくても一人前の自治体』であり続けるために、住民へのステップとして『住民自らの自助努力』と『地域における共助』、更には『村としての公助』の3点を指針として住民とともに思考錯誤を重ねながら、真剣に自律した村づくりに取り組んでいる姿が印象に残りました。



長野県宮田村役場での研修
[10月22日]

具体的な取り組みの中にはむらづくり協議会や地域づくり支援事業、或いは、役員職員の地区担当制や出前講座などが実施されていましたがその中でも特に目を引いたのは、職員の地区担当制でした。地区担当制の目的は、村民として行政が協力して村づくりを進めるため、村の職員が住民と同じ立場で、各行政区の活動を支援するとともに各区の課題解決の相談・助言を行い、区民による自主的な地域づくりやこれからの住民自治によるむらづくりに寄与

できるように『地区担当制』を置いているとのことでしたが、村全体にその運動が広がっており、その先進的な取り組みに共感を覚えました。次の視察地、南佐久郡川上村は、標高1,100m以上の高冷地であり、人口4,103人面積は209・7km²。

川上村では、この厳しい気象条件を逆手にとった『夏出し高原野菜』の産地化に成功し、年間200億円の出荷額を誇る『レタス生産・日本一』の村として、今全国で一番脚光を浴びている村でした。

現在、農家の平均年収は2500万円とも言われ『奇跡の村』と呼ばれており、その高収入も手伝って、農業後継者の定着率は、全国平均を大きく上回る数字となっております。農業従事者の平均年令は30・7才で年少人口も17%と長野県下の農村では、高率を維持している村であります。因に、65才以上の割合は24・6%で、出生率は1・89人となっております。

川上村は、農業だけでなく特筆すべきことの中に、24時



長野県川上村役場での研修
[10月23日]

間営業の図書館や同じく24時間営業の診療所・在宅介護支援などの医療サービスが受け入れられるようになっており福祉の面でも充実した施策が展開されていました。冬場は、高冷地のための農業生産ができないため、毎年4月より土づくりから準備に入り、野菜の収穫や出荷時期は6月から10月中旬までで作業時間はいつも朝の4時からナイターで集中的に行われるとのことでした。平成18年からは、台湾や香港など海外への輸出も行われており、農作物の供給基地として、ますます充実・発展を続ける川上村の状況を目の当たりにして、あらためて『奇跡の村』と呼ばれる意味を実感した視察研修となりました。

一般質問

ズバリ!聞きます



蒲池 恭一議員

菊水地域の開校は何時になるのか?

[町長] 平成27年4月の開校は極めて厳しいが…。

問 今後の学校建設の進め方について伺う。

答 (町長) 三加和区域については、三加和小学校舎及び屋内運動場建設工事が7月末日に竣工し、現在は三加和中学校の校舎等の改築工事を施工しており、12月末の竣工を予定している。また平成26年2月から

中学校既存のプール改修及び三加和小プールの新築工事に着手する予定である。菊水区域については、11月10日に校舎建設事業に関する住民投票を実施しましたが、投票率28・93%という結果になった。この結果から、町民の多くの皆さん方は、事業費に関するところは、議会及び執行部に判断を委ねられたと受け止めており、これは、22年・23年・24年・25年と4年にかけて

事業を進めている。その状況からそのように受け止めている。しかしながら、今後の予定としては、新築工事の発注を新年度(平成26年)4月以降に行う。

問 子どもたちは平成27年4月に新しい学校で学べると思っていたと思うが、開校が何時になるのか伺う。

答 (町長) 平成27年4月の開校は極めて厳しい、開校を1年遅れざるを得ない状況になるかと思うが、何らかの工夫で27年開校ができないか、最大限努力する。

問 今まで番城グラウンド周辺に、学校建設のための用地買収、造成工事等に7億もの予算を投じてきたところであり、一進めいってくれ」と言う声が多く聞こえているが、そのような思いを、町長はどのように思われるか伺う。

答 (町長) 今日、予算確保するためには自治法上難しく、予算確保できない状態で、学校建設を執行することに関しては横暴に値すると、判断をしたところである。





荒木 拓馬議員

定住促進、子育て支援対策について!

[町長] 人口減少対策に取り組む。

問 定住促進、子育て支援対策と今後の課題について伺う。

答 (町長) 新築住宅に対する固定資産税減免制度、

問 定住促進、子育て支援対策と今後の課題について伺う。

答 (町長) 町外から来られる職員に対し、住宅手当を上げています。どこに住むかは自由であり権利でもあり縛ることは出来ない部分である。公務員として地域の催事や消防団活動などに参加するという心掛けは大変な事、今後は自ら職員が認識を強化するための努力をさせていきたい。

問 岩地区のゴルフ場予定地跡の所有者状況と、今後の計画、方向性について伺う。

答 (町長) 町外から来られる職員に対し、住宅手当を上げています。どこに住むかは自由であり権利でもあり縛ることは出来ない部分である。公務員として地域の催事や消防団活動などに参加するとう心掛けは大変な事、今後は自ら職員が認識を強化するための努力をさせていきたい。



荒木 政士議員

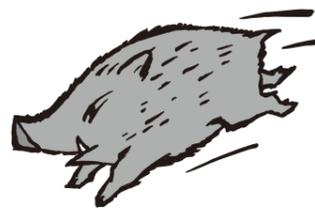
合併後8年で1,300人の人口減少をどうとらえておられるか?

[町長] 喫緊の課題だと受け止めている。

問 政府の新しい米政策と今まで進めて来た土地利用型農業の方向性及び、人口減少の進行状況について伺う。

答 (町長) 各種の定住対策・宅地分譲・新築住宅減免制度・新婚さん定住促進奨励金・子ども医療費助成事業の拡大・出生祝金支給事業など実施した。その効果として、出生数において、若干ふえているが、倍近くの死者数が今の状況である。ご指摘の、人口減少は、喫緊の課題だと受け止めている。今後とも各種施策を行い、人口減少対策に取り組んでいきたい。

問 鳥獣被害防止対策整備事業が、3年間取り組み、大きな成果があったと思う。今後の取り組みについて伺う。



問 坂梨町政4年間の成果と課題について、私は、合併当初からずっと、定住促進・人口減少対策を、一貫し言ってきた。8年間で1千3百人の人口減少を、どうとらえておられるか。

問 中山間地域総合整備事業については、各地域で工事が進行中である。現在の状況と今後、最終的に完了予定について伺う。

問 鳥獣被害防止対策整備事業が、3年間取り組み、大きな成果があったと思う。今後の取り組みについて伺う。

ズバリ!聞きます



笹淵 賢吾議員

三加和小学校建設の設計段階で問題点は見えなかったのか。

[建設課長] 設計内容は見ていない。
[学校教育課長] わからなかった。

問 9月議会で三加和小学校建設の問題点を指摘したが、その後は改善されたか。また、設計の段階で問題点は見えなかったのか。

答 (建設課長) センサーで電気がつく仕組みにして、3分ついて消えるのを2分間に調整した。スロップの鉄柵は植栽で対応したい。その他は子どもたちの過ごしやすいように整備対応したい。設計段階での問題はなかった。設計の段階ではかわかっていなかった。図面と現地は合っていた。

問 設計図を見ていなかったという点か。学校教育課、企画課、建設課と担当が変わって三加和小学校が建設されたが、最初のころ設計図を見て何とも思わなかったのか。

答 (学校教育課長) 担当

が企画課に移ったので設計図を見てどういうふうな構造がなっているか、専門的でなくなった関係もあり、わからなかった。

問 学校建設で多額の借金をして、その返済とともに合併後11年目から地方交付税の削減が行われ、財政が窮屈になる。これを見越して住民サービスのカット、住民の負担増は始まっているのか。どんな方法の歳入増と歳出削減を考えているか。

答 (総務課長) 歳入増は町税等の収入の確保と受益者負担の適正化、公有財産の処分の活用や新たな財源の確保も必要である。地方交付税が28年度から段階的に削減される。5年間で約5億円程度が削減される見込である。この交付税の減少にあわせて当然、歳出の方も削減しなければなら

ない。住民サービスを維持したままに削減をするならば、例えば類似公共施設等の廃止等も今後検討して維持管理費等の削減を図っていく方向もあり、町単独事業の見直しや各種団体への補助金見直し等を行いながら、歳入の減少に対する対応策を考えていく。

問 住民投票の結果を受けてテレビで「住民投票はやってよかったですか」と問われて町長は「やりたくなかったですね。好むものじやなかった。喜んで自分がやったあれではなかった」と答えていたが、住民投票条例は自分で作ったものではなかったのか。

答 (町長) 住民投票の内容からしたら議会に提案し議会でご議論いただきご判断をいただくものだったがやりたくなかったということです。

町立病院や特別養護老人ホームの防火対策はどうなっているのか?

[町立病院事務長] 職員の防災意識向上に努めている。
[特別養護老人ホーム施設長]



小山 暁議員

問 福岡市内の病院で7カ所の防火扉が作動せず、多くの犠牲者が出たが、和町立病院や特別養護老人ホームの防火体制や防火対策はどうなっているのか。

答 (特別養護老人ホーム施設長) 毎年、消防計画書を作成し年2回の防火避難訓練を実施している。その他隣接している町立病院と合同で有明消防本部と町消防団の協力を得て、通報訓練や初期消火・避難訓練・放水訓練を実施している。

答 (町立病院事務長) 特老と同様に消防法第8条による防火管理者を定め、防火計画書に基づき避難訓練の実施や消火用水・消火活動に必要な施設点検・整備など適正な管理を行っている。

問 建築基準法では、一定の建築物の所有者に対して3年に1回の定期報告が義務づけられているが、今年度の定期報告の結果はどうなっているのか。又、消防法による年1回の報告についても伺いたい。

答 (特別養護老人ホーム施設長) 当該施設は2階建なので、建築基準法の3年に1回の報告義務はない。消防法に

よる年1回の報告では、何も問題はない。

答 (町立病院事務長) 3年に1回の点検報告が義務づけられており、今年8月に点検を実施した結果、建物の一部亀裂等の指摘があったので、重要箇所については、手直しを行い報告した。消防法による年1回の報告では、煙感知器型防火扉の稼働チェックや火災報知機等の点検報告を行っている。

問 夜間の火災が大参事につながるケースが多く見られるが、町立病院や特別養護老人ホームの夜間管理体制について伺う。

答 (特別養護老人ホーム施設長) 夜間の人員配置は、警備員や介護士を含めて7名体制で行っているが、入所者の9割は、搬送・護送が必要な対象者ばかりなので、有事の際は多くの混乱が予想されるので、その対策の一環として、隣接する町立病院と連携しながら、職員の防災意識向上に努めている。

答 (町立病院事務長) 町立病院は24時間対応の救急病院のため、夜間の体制は、外来にドクター1名、看護士1名、警備員1名、3階・4階の病

棟にそれぞれ2名ずつ配置しており、全部で7名確保している。

問 防火扉の構造・機能について伺いたい。

答 (特別養護老人ホーム施設長) 特老の防火扉は、鉄製で8枚あるが、熱と煙を探知する自動火災通報装置となっている。

答 (町立病院事務長) 町立病院は、同様の自動火災報知機で、温度による感知システムが防火扉とは別に166箇所設置しており、煙り式警報設備は85箇所設置している。

問 福岡市内での病院火災で問題となった防火扉には法改正後には設置を認めていない旧式の熱感知式だったことが判明している。本町の町立病院や特別養護老人ホームは、いずれも築年数が40年以上経過しているが、現在の防火扉は、建築基準法上・消防法上何も問題は無いのか。

答 (特別養護老人ホーム施設長) 確認した結果、何ら問題ない。

答 (町立病院事務長) 県からの調査結果や有明消防署からの点検チェックでも何



高巢 泰廣議員

学校教育・社会教育の 取り組みについて!

[町長] 学校教育・社会教育連携を密にし、開かれた教育委員会づくりに心がける。

問 27年4月開校は可能か。
答 (町長) 校舎建築工事発注を26年4月以降に行い増額分についても新年度予算を計上し事業を進めていきたい。

問 住民投票結果をどう受け止めておられるのか伺う。
答 (町長) 投票率28・9%の結果から事業費の増額に関して、議会、執行部に判断を委ねられたと受け止め学校建設は教育環境を整備する為、事業費39・6億円を進めることを議会の判断で仰ぎたい。

問 学校教育・社会教育の取り組みについて教育長の方針抱負を伺う。
答 (教育長) 家庭・学校・地域が一体となり開かれた学校作りを目指し、学校教育・社会教育が連携し相互信頼関係を構築し、全職員のチームワークを基盤とする体制づくりに努めたい。又、部活動や道徳教育をはじめ体験活動を通じ豊かな人間性や、21世紀をたくましく生き抜く健康や体力等を身につけさせたい。26年度の動きとして、2学期制の検証、土曜日授業の導入検討等を考えている。

問 肥後民家村の活性化について。現在の状況はどの様になっているか。今後どのような経営を考えているか伺う。
答 (町長) 民家村の件については、施設の維持管理費に見合う収支を確保することは今後大変厳しい状況である。木工館・小林美術館に於いては閉館となっている。26年度以降、町内関係部署や諮問機関等の協議を重ね根本的な解決策を探っていく。

問 いじめ防止対策推進法に基づく取り組みについて伺う。
答 (教育長) 子どもたちのいじめ問題、相談事項に応じられる組織づくりを考えている。学校現場の先生・保護者等が連携して、子どもの発言・行動をみて早期解決に向け全力を尽くし指導していきたい。

問 歯科・口腔の健康作り(フツ化洗口)を提案したが、その後の検討状況について伺う。
答 (町長) 前向きに検討する様に指示している。

問 全国学力学習状況調査に於いても、全国的にトップに近い成果をあげている。税金の値上げについては合併時より42億積立てしているので値上げはない。
答 (町長) 全国学力学習状況調査に於いても、全国的にトップに近い成果をあげている。税金の値上げについては合併時より42億積立てしているので値上げはない。



杉村 幸敏議員

住民投票28.93%の結果の 受けとり方について!

[町長] 議会・執行部に判断を委ねられていると理解する。

問 学校建設についての説明不足について。小中一貫教育について。学校建設のためによる、税金の値上げはないか。
答 (町長) 少子化対策については、町としては色々の政策を実施しているが、今回の定例会で上程している。23年度から医療費の無料化も時限的なものではなく、今回の条例改正をお願いしている。高齢化対策65歳以上2万円の支給に

問 少子高齢化対策と平成26年度予算の考え方について。少子化対策について。高齢化対策として、65歳以上の方に2万円の商品券支給して町の活性化のため、予算の計上してはどうか。
答 (町長) 民家村の件については、施設の維持管理費に見合う収支を確保することは今後大変厳しい状況である。木工館・小林美術館に於いては閉館となっている。26年度以降、町内関係部署や諮問機関等の協議を重ね根本的な解決策を探っていく。

問 小中学校統合建設の今後の計画と問題点について伺う。学校建設についての公約は、三加和区域の建設状況は、住民投票28・93%の結果の受けとめはどのように考えておられるか。
答 (町長) 公約としては46億円であったが、菊水区域で第二グラウンド造成の為、3億6千万のオーバーとなる。三加和区域の状況は90%の進捗率となっている。住民投票については、議会、執行部に判断を委ねられていると感じている。

問 肥後民家村の活性化について。現在の状況はどの様になっているか。今後どのような経営を考えているか伺う。
答 (町長) 民家村の件については、施設の維持管理費に見合う収支を確保することは今後大変厳しい状況である。木工館・小林美術館に於いては閉館となっている。26年度以降、町内関係部署や諮問機関等の協議を重ね根本的な解決策を探っていく。

問 歯科・口腔の健康作り(フツ化洗口)を提案したが、その後の検討状況について伺う。
答 (町長) 前向きに検討する様に指示している。

問 全国学力学習状況調査に於いても、全国的にトップに近い成果をあげている。税金の値上げについては合併時より42億積立てしているので値上げはない。
答 (町長) 全国学力学習状況調査に於いても、全国的にトップに近い成果をあげている。税金の値上げについては合併時より42億積立てしているので値上げはない。



杉本 和彰議員

学校建設を延ばす理由として 継続費が原因と言われるが?

[町長] 26年度分を25年度から前倒しにて造成事業が組めないのでは総額が確保できない。

問 一部の子どもたちが教育のハンディを背負っているとの書面が家庭に配られているが。

答 (教育長) 個人的には憤慨している。内容的にも不適切な表現。認められるものではない。

問 税金の確保。企業誘致・定住促進の実績が厳しい。努力・成果がみえないのもあり学校建設に対し不安がある。交付税の算定替で5億円程度さがると。

答 (町長) 働く雇用の場も必要である。それぞれの職員、企業担当、農業振興ここは安心して生活できる。高齢者政策など連携した中で住みやすい町づくりに取り組んでいく。算定替は5年間で12億減額される。毎年2億基金積立てている。

問 学校建設の設計に先生方の意見を取り入れる必要があるが。

答 (町長) 議員問わず学校の先生方に説明またどういう思いでされたか意見交換、お気づきの点を設計業者に声をつなぐ、そういう機会をつくられたなと思っている。

問 番城グラウンドは社会体育施設であるがこれを学校施設とすぐ出来るのか。

答 (総務課長) 開校する段階で学校施設の敷地として変更すればよいのではないかと考えている。

問 三加和小は冷暖房が出来ないか。

答 (町長) 研究しながら又、ご相談しながらいくべきと考える。

問 副町長の選任同意をされるのか。スピード感のある業務のために町づくり推進課を。

答 (町長) 事務改善、根本にどうあるべきか考えながら整備をいたす。

問 町民と町職員が対等な関係をもって町づくりを進めるといふ地方分権の流れである。今の混乱についての思いは。

答 (町長) 情報を数々、度々伝えていくことが足らなかったと反省している。「なごみ」についても町民が求めている内容は何なのか検討させていただきたい。



松村 慶次議員

住民投票不成立に対して!

[町長] 投票率28.93%は残念に思う。

問 菊水区域小中併設型校舎建設事業の、住民投票不成立に対して、町長はどう思われているか。

答 (町長) 事業費に関する住民投票を実施したが、投票率28.93%という結果になり、残念に思っている。町民の多くの皆様方は、事業費の増額に関することは議会及び執行部に判断を委ねると受け止めている。

問 一日も早い複式学級を解消する事が町長の本当の思いと思う、多くの町民が既存の校舎を活かした耐震補修、リニューアルして、指向していると思うが、見直しはされたのか。

答 (町長) 見直しはしておりませんが、もうすでに35年超えた中学校、今雨漏

れもしていると聞いているコンクリートはリニューアルしたから35年持つわけではない、リスクの先延ばしは今安上がりであっても、耐震基準は今後厳しくなり、材料等も高くなると思う、今やはりしっかりと計画どおり取り組むことが賢明であり、今安上がりであっても15年先補助金を考えたとき後で子どもにツケをまわすことになる。

問 事業費の金額を問うのではなく、事業そのものの賛否を問うべきではなかったか。

答 (町長) 建設場所、それから予算は、これまで議会での承認を得て進めてきている、事業そのものを問う事は、これまでの議会の議決を無視する事になる。



問 今後、菊水地域の学校建設については。

答 (町長) 28億の継続費で建設事業においては頂いている、総額においては、承認頂いていない中で、建設を進める事は、公的な機関においてする事は横暴である。新しい年度に、新しい気持ちで、新しい形取り組む。

その他の一般質問は、次の通り。

- ◎ 自主防災組織について
- ◎ 通学路の整備について